

21世紀水倶楽部研究集会「災害時のトイレ確保と下水道の役割」

1. 開催趣旨

下水道高普及都市において大規模地震災害が発生して下水道機能が失われ、トイレが使えないというのはどういう状態なのかを東日本大震災の被災地から見るとともに、災害時のトイレ確保の重要性を訴え、トイレの確保はどうすべきなのか、また、確保すべきトイレはどんなものが望ましいのか、さらにその際に行政、なかんずく下水道は、関連部局と連携したうえで何をなすべきかなどを議論する目的で研究集会を開催しました。

2. プログラム

- 開会挨拶
21世紀水倶楽部 亀田 泰武 理事長
- 災害時のトイレ確保と問題解決に向けた下水道への提案
NPO法人 日本トイレ研究所 上 幸雄 代表理事
- 東日本大震災における浦安市のトイレ状況と対策
浦安市 長峰 敏幸 都市環境部長
- 東京都における震災時のトイレ対策
東京都下水道局 計画調整部 柳 雄 緊急重点雨水対策事業担当課長
- 話題提供 災害時のトイレ確保と下水道の役割
国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道事業課 榊井 正将 課長補佐
- 話題提供 横浜市下水道BCP策定に向けて
横浜市環境創造局 下水道計画調整部下水道事業調整課 高野 政和 下水道事業調整担当
- 全体討議

3. 日程

日時：平成24年7月11日（水）14：00～17：30

会場：砂防会館別館シェーンバッハ・サボー